



マスコットキャラクター  
「たねっこ」

# 種まき通信



第54号 編集・発行：田根地区・地域づくり協議会  
2023.11 〒526-0273 長浜市高畑町316-1 TEL74-1450

十月十五日、体育文化部会による「田ねフェスタ2023」を田根小で開催しました。コロナ禍以前に開催していた「遊inぐフェスタ」の後継として四年ぶりの開催です。「遊ぶ!」「食べる!」「当てる!」と銘打ち、スポーツやフードバザー、もちまきを楽しみました。



パブルサッカー(審判は地域おこし協力隊の堀田さん)

体育文化部会による

## “田ねフェスタ”開催

ドッチビーやパブルサッカーなどを新しいスポーツを取り入れ、とても楽しいひとときになりました。

今回、地域づくり協議会として初めて行ったフードバザーでは、焼きそばやフランクフルト、おでんにお茶などの販売をしましたが、特に人気だったのがタコライスです。調理担当は、カナダから移住



大盛況のフードコーナー(スタッフは早大生や関学生たち)

されたエチエンさんです。市内のホテルで腕を振るうプロの料理人、美味しいはずですが、余談ですが、私も含め多くの人々がタコライスにはタコが入っているかと勘違いしていました。今回のバザーは急ぎよ決まったのですが、スタッフとして地元有志の方とともに早大や関学、県立大、虎高などの学生さんを中心に若い方が快く協力してくれました。

フェスタでは健康推進員さんによるベジチエック(野菜摂取量調査)もあり、約百名の方に受けていただきました。

新生フェスタには、小学生をはじめ多くの若者が集まってくれました。次回は高齢者の方も参加しやすい工夫をして、世代間交流の場にしたいと思います。



人気のタコライス(タコは入っていません)



## 慶應大学からの お知らせ



### 慶應義塾大学 小林博人研究会

小林博人研究会(koblab)では、コミュニケーションをベースとした社会や文化そして空間のデザインへの介入を通して、空間デザイン・ものづくりのノウハウを活かしながら研究を行っています。田根地区では2007年から活動を行っており、地域社会における場所の豊かさやその根源をなす地域の文化に根ざしたコミュニティの再生や強化、そして地域の新たな価値の創造を目指しています。

### 「たねまる」とは

「たねまる」とは、今年のワークショップとそこで作る本棚を総称した名前です。今年の本を通じた循環型の仕組みを作ることを目的として、田根の方から頂いた家具を分解、加工、再構成し本棚を作りました。利用者である住民の方が材料を持ち込み、デザインを考え、作ることを通じて、長く愛着を持って使ってもらおうことを目指しています。利用してもらってはじめて成り立つプロジェクトなので、完成後も本棚とその維持活動を媒介としてコミュニティがうまれるように働きかけていく予定です。このような、ものの循環を介して人が繋がっていくというメインコンセプトのもと、田根が丸く繋がっていくイメージで「たねまる」と名付けました。

### ワークショップの様子

今年は、田根小学校から15名の児童が参加してくれました。主に本棚の色塗りなどを担当してもらい、虎姫高校の生徒と慶應の大学生と共に作業を行いました。真剣な様子で色塗りしている姿が印象的でした。休憩時間の水遊びも楽しかったね！

### 本棚の材料・本は地域の方からの頂きもの！

7月末から田根に滞在し、ワークショップまでの準備期間に田根住民の方々から不要になった家具や本を譲っていただきました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます！



### 使い方

- ①本は自由に借りたり、買ったりしてOK ※シリーズもののマンガを除く
- ②マンガは【持ち帰らず】その場で読んでください！
- ③本の持ち寄り大歓迎！ご自宅に眠っている面白い本をぜひ共有してください！

### 設置場所

現在、この3箇所に設置されています。ぜひぜひご利用ください！

- ・田根小の校門の横にある藤棚（去年のワークショップで制作）の付近
- ・まちづくりセンターの駐輪場
- ・地域おこし協力隊堀田さん宅





## 研修室が変わりました

本館1階南側「研修室」の長机を新規購入しました。また、椅子も新品ではありませんが白いものに入れ換えました。

以前は濃い茶色の机と黒い椅子でしたが、写真のようになりましたので、部屋が明るいです。また、机はキャスター付きですので簡単に移動できて便利です。ぜひご活用ください。なお、この部屋は基本料金100円/時間です。

## 無地のカップが大変身しました 「ポーセラーツで オリジナルマグカップづくり」

9月24日(日)に実施しました。

ポーセラーツ教室Bonheur(ボヌール)の嶋原栄子さんのご指導のもと、参加者のみなさんが90分間夢中で取り組みました。感想を聞きましたら「楽しかった」「また作りたい」とのことでした。

すてきな作品を小さな写真でご紹介します。



## ▶参加者募集

## 『木の実のリース作り』

つるをぐるぐる巻いて、木の実やリボンで飾ります。開催2回とも内容は同じです。

日時…11月24日(金) 13:30~15:00

11月25日(土) 9:30~11:00

会場…田根まちづくりセンター

トレーニングルーム(別館1階)

定員…各10名(申込順)

材料費…100円(当日集金)

持ち物…特になし(手ふきタオル、お茶等)

リースにつけたいものがあれば

持ってきてください

申込先…田根まちづくりセンター

申込×切  
11月18日  
(土)



## 田根まちづくりセンター

開館時間:8時30分~17時15分

(夜間使用がある日は夜間もスタッフ在中)

休館日:月曜、第1・3日曜、祝日、年末年始

〒526-0273 長浜市高畑町316-1

TEL 0749-74-1450

FAX 0749-74-1445

✉ tane-machisen@zc.ztv.ne.jp



# 堀田雅史の活動報告

気軽に声掛けてください！

## ペップトーク講習会



9月中旬に、大阪の友人が我が家に来て、「ペップトーク講習会」を開催してくれました。「ペップトーク」とはなかなか聞かれない言葉だと思いますが、WBC決勝前に大谷翔平選手が円陣で伝えた「懂れるのはやめましょー・・略・」というスピーチが有名です。相手をやる気にさせる・普段よりも10%能力を出させる等、言葉一つでモチベーションを上げる方法とのことです。受容・承認・行動・激励で構成されています。左は私の考えた例文です。

【受容】世界のスポーツ界では、10年以上前から科学やデータに基づいたチームビルディングを行っている。

【承認】日本は今でもスポーツ科学やデータが重視されていなく、世界との差が開くばかりだ。

【行動】しかし、日本人が本気になれば他国よりも有効に科学やデータを使える！

【激励】失敗を恐れずやってみよう！私生活や仕事にも使えるので、もしペップトークに興味があればまた開催します！

## 慶應義塾大学SFC訪問



9月末〜10月上旬に横浜市の自宅に帰省しました。久しぶりの帰省だったため、買い物に行ったり前職の職場へ遊びに行ったり、堪能してきました。また、普段は田根にきている慶應義塾大学の小林研究会も授業があるとのこと、初めてSFCへ行き参加させていただきました。

この日は後期授業の最初の日のことと、新入生を含めた自己紹介がメインでした。すでに面識のある学生も多く、とても温かく迎え入れてくれました。

研究室は小林研でデザインしたらしく、木を使った温かみのある雰囲気、私も自宅のリノベーションに取り入れたいなと思いました。

また、この研究会は海外からの留学生も多く参加しており、英語での会話も至る所から聞こえてきます。改めて英語教育の重要性を学んだとともに、私も英語の勉強しなければとモチベーションが上がりました(笑)

## プロフィール

堀田 雅史 ほった まさし

1986年、埼玉県桶川市で生まれ、群馬県東吾妻町で育ちました。  
趣味は、サッカーとフットサルです！



## 編集後記

久しぶりに横浜に帰省しました。数か月ぶりだったのですが、近くの飲食店が潰れていたり、百貨店のテナントが変わっていたり、変化をすごく感じました。前職の社長に「都会と地方の違いはスピード感だ。都会は常に変化していて、それが社会の変化だからアンテナを張っているように」と常日頃言われていました。高校生以来の地方での生活ですが、改めてこのスピード感の違いを感じました。

ちなみに、私がよく行っていたラーメン屋は凄惨な事件に巻き込まれ閉店していました。おいしかったのですが、こればかりは仕方ないですね。

ラーメン以外にもおいしい食事はたくさんあるので、皆様が横浜に行く際にはご紹介いたします！